

Mainzer Freunde für Japan e.V.

<http://www.mainzer-freunde-fuer-japan.de/>

私たちは仙台で被災した人たちの生活を応援します

仙台を襲った大地震・大津波

1601年に伊達正宗が仙台藩を構えて以降、東北最大の都市として栄えてきた仙台。歴史と文化、そして自然が交差し、活気溢れる街は「杜の都」とも呼ばれ、人々を魅了してきた。3月11日の東北関東大震災で、仙台市は震度7の大地震と大津波に見舞われ、最大被災地のひとつとなっている。復興の道のりはまだ遠く、市内で排出される廃棄物の32年分に相当する瓦礫の除去作業、進まない仮設住宅の設置、そして長期化する避難所生活と、被災されたひとりひとりの生活を十分に支えていく状況には至っていない。



仙台市テコンドー協会の支援内容

元全日本チャンピオンで仙台市テコンドー協会の理事である相原儀雅氏は震災直後から、給水や炊き出しを通して同市で被災した子供たちとその家族の支援を行ってきた。民間の宅配業者が個人宅まで荷物のデリバリーができなかった震災直後には、郊外の集荷センターで荷物をピックアップして個人宅や避難所へ搬送する等、フットワークの軽い活動で地元へ貢献。仙台では、国や自治体による生活支援はまだ乏しく、人と人とのつながりによる支援活動が子供をはじめとする被災者の生活を支えている。仙台市テコンドー協会や相原テコンドー道場の協力者と連帯して、今後も現地で最も必要とされている支援を見極め、生活物資の配布、炊き出しや子供たちのためのスポーツイベントの開催など、継続的な活動を行っていく。



仙台市テコンドー協会のホームページ リニューアル中
相原テコンドー道場のブログ <http://ameblo.jp/aiharadojo/>